

平成25年度前期 学校評価中間結果報告

評価基準 A (よくできた) 5 / B (できた) 4 / C (あまりできなかった) 2 / D (できなかった) 1

《 ランクマーク ▲ 1.00 ~ 1.99 / △ 2.00 ~ 2.49 / 無印 2.50 ~ 2.99 / ○ 3.00 ~ 3.99 / ◎ 4.00 ~ 5.00 》

※ 集計実施日 平成25年8月1日

ただし、評価は平成25年第1学期までのものである。

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度	評価結果					評価点	ランク	設問番号
					A	B	C	D	無回答			
学 校 運 営	開かれた学校づくり	家庭や地域への情報発信	「学級通信」・「学校だより」を月1回発行するとともに「ホームページ」を通じて、保護者に可能な限り情報を公開する。	21	3	17	12	2		3.2	○	1
				22	3	18	8	0		3.6	○	
				23	3	17	13	1		3.2	○	
	24			10	17	7	1	0	3.8	◎		
	25			14	17	2	0	0	4.3	◎		
	開かれた学校づくり	学校評議員制度等を活用した学校運営の推進	学校評議員の意見を聴取し、授業や行事等の改善に役立てる。	21	1	20	12	1		3.2	○	2
				22	1	17	7	3		3.2	○	
				23	1	14	12	4		2.9	○	
	24			6	14	14	1	0	3.3	○		
	25			4	16	10	2	1	3.3	○		
	開かれた学校づくり	学校施設や教育資源の地域への解放	社会人教育として「特別専修コース」を開設し、地域住民が学ぶ環境をつくる。	21	3	20	9	2		3.4	○	3
				22	4	18	6	1		3.6	○	
23				12	12	7	3		3.7	○		
24	12			11	10	2	0	3.6	○			
25	16			11	3	1	2	4.2	◎			
生 徒 指 導	生徒指導方針の確認と指導体制の推進	年度当初に生徒指導方針を生徒・職員に明確に説明し、定期的にその方針の達成状況を確認する。	21	5	21	7	1		3.6	○	4	
			22	4	15	8	3		3.3	○		
			23	10	19	5	1		3.9	○		
			24	11	14	9	0	1	3.8	○		
			25	3	20	9	1	0	3.5	○		
	生 徒 指 導	生徒の内面理解を図る指導の工夫	各学期に個人面談を実施すると共に、家庭とも密接な連絡をとる。	21	8	21	4	0		4.0	◎	5
22				4	20	1	0		4.1	◎		
23				15	18	2	0		4.3	◎		
24				20	12	3	0	0	4.4	◎		
25				13	16	4	0	0	4.2	◎		
生 徒 指 導	生徒の自主自律の精神を育む指導の工夫	生徒会行事の活性を図り、生徒の自律意識を高める。	21	2	13	15	3		2.9		6	
			22	1	11	14	4		2.7			
			23	0	14	19	1		2.8			
			24	2	17	13	2	1	3.1	○		
			25	6	19	7	1	0	3.7	○		
進 路 指 導	進路指導体制の充実	進路指導に関する年間計画を作成し、組織的に指導する。	21	1	20	8	5		3.1	○	7	
			22	6	18	4	0		3.9	○		
			23	5	19	8	0		3.7	○		
			24	9	14	10	1	1	3.6	○		
			25	6	18	8	1	0	3.6	○		
進 路 指 導	職業観・勤労観の育成と進路意識の育成	外部講師による進路講演会を開催し、生徒の職業観を高める。	21	4	23	6	0		3.8	○	8	
			22	7	17	5	0		3.9	○		
			23	7	16	9	0		3.7	○		
			24	8	15	10	1	1	3.6	○		
			25	7	21	5	0	0	3.9	○		
教 職 員 の 資 質 向 上	実践的指導力の向上	いつでも公開授業ができる体制を整える。各学期に1回以上研究授業を行う。	21	1	19	13	1		3.2	○	9	
			22	0	18	10	2		3.1	○		
			23	0	19	14	1		3.1	○		
			24	4	16	13	2	0	3.2	○		
			25	9	20	3	1	0	4.0	◎		
教 職 員 の 資 質 向 上	計画性をもった研修の実施	進路・教務・保健・生徒指導等の諸課題に関する研修を計画的に立案する。	21	0	24	9	1		3.4	○	10	
			22	1	18	9	2		3.2	○		
			23	2	16	13	3		3.0	○		
			24	8	16	10	0	1	3.6	○		
			25	4	23	6	0	0	3.8	○		
危 機 管 理 体 制 の 整 備	生徒に対する防犯教育の充実	学校マニュアルに基づいて、不審者の侵入などの危機的事態への注意を喚起し、連絡の徹底を図る。	21	2	15	17	1		3.0	○	11	
			22	1	13	10	5		2.8			
			23	3	15	14	2		3.1	○		
			24	0	15	13	6	1	2.7			
			25	3	13	16	1	0	3.0	○		
危 機 管 理 体 制 の 整 備	教員の実践的な研修・訓練	緊急事態への対応や、生徒の心のケアについての研修を定期的に行う。	21	0	19	15	1		3.1	○	12	
			22	2	12	10	5		2.9			
			23	2	16	14	2		3.1	○		
			24	4	17	11	2	1	3.3	○		
			25	2	10	19	2	0	2.7			

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度						評点	ランク	設問番号
					A	B	C	D	無回答			
学校運営	学校運営全般	学年・学級経営	学校教育目標達成に向けた学年・学級の具体的な経営方針を立て、その実施に努力する。	21	4	23	8	0		3.7	○	13
				22	2	18	8	1		3.4	○	
				23	3	19	10	0		3.5	○	
				24	9	16	6	4	0	3.6	○	
				25	2	23	7	1	0	3.5	○	
	校務分掌	校務分掌	年度当初に、それぞれの分掌における重点目標を設定し、適宜取り組みについて評価・見直しをおこなう。	21	2	21	10	1		3.4	○	14
				22	3	18	7	2		3.4	○	
				23	2	22	8	1		3.5	○	
				24	5	19	7	3	1	3.5	○	
				25	5	21	6	1	0	3.7	○	
	PTCA活動	PTCAとの連携	授業参観や、人権教育研修・保健講話などにおける研修会への参加により、学校を開き、生徒理解を深める。	21	2	17	16	0		3.1	○	15
				22	4	12	13	1		3.2	○	
				23	5	16	11	0		3.5	○	
				24	5	19	7	3	1	3.5	○	
				25	6	17	9	0	1	3.6	○	
教育課程	自らから学び考える力の育成	生涯学習の視点に立った実践能力の育成	多様な選択科目や体験活動等を設定し、生徒の関心に応じた特色ある教育課程を編成する。	21	1	19	13	2		3.1	○	16
				22	0	11	15	3		2.7		
				23	1	17	14	0		3.2	○	
				24	2	15	16	1	1	3.0	○	
				25	3	11	15	3	1	2.9		
	基礎・基本の定着	生徒の学力の把握と評価規準の設定	全校一斉テストを年5回以上実施し、生徒の学力を把握して、指導方法を工夫する。	21	1	14	15	5		2.7		17
				22	0	12	14	3		2.7		
				23	2	11	15	4		2.8		
				24	4	9	16	5	1	2.7		
				25	6	20	4	2	1	3.8	○	
	学ぶ喜びや達成感が味わえる指導方法の工夫	校外研修会等に積極的に参加し、魅力的な授業づくりの工夫をする。	21						#####		18	
			22							#####		
			23							#####		
			24	1	10	14	7	3	2.5			
			25	4	17	12	0	0	3.4	○		
	個に応じた指導の徹底	評価方法の創意工夫	評価方法について、教科間の意見交換や研修会を実施して、多角的な評価方法を工夫する。	21	2	15	14	3		3.0		19
				22						#####		
				23						#####		
				24	2	8	17	6	2	2.5		
				25	4	13	13	3	0	3.1	○	
	指導形態の工夫	生徒の実態を把握して、個に応じた指導をおこなう。	21	1	17	13	3		3.0	○	20	
			22	0	17	10	3		3.0	○		
			23	2	15	14	3		3.0	○		
			24	4	12	12	5	2	2.9	○		
			25	4	15	11	3	0	3.2	○		
自主的・実践的な活動の活性化	部活動の活性化や、生徒会活動の積極的な運営を進める。	21	4	22	8	1		3.6	○	21		
		22	6	19	4	1		3.8	○			
		23	7	18	8	1		3.6	○			
		24	6	20	8	0	1	3.7	○			
		25	7	18	7	1	0	3.7	○			
特別活動(学校行事等)	学校行事の精選と行事内容の充実	学校行事検討委員会を開催し、行事の精選や行事内容の充実を図る。	21	2	18	13	2		3.1	○	22	
			22	4	13	9	3		3.2	○		
			23	5	14	11	3		3.2	○		
			24	3	15	14	1	2	3.2	○		
			25	3	13	14	3	0	3.0	○		
ボランティア活動	各種ボランティア活動への積極的参加を促し、全生徒が1回以上参加する。	21	0	11	19	5		2.5		23		
		22	1	4	14	9		2.1				
		23	0	12	17	3		2.7				
		24	2	10	19	3	1	2.7				
		25	5	10	13	4	1	3.0				
芸術文化活動	文化的行事	文化祭(神工祭)で、専門科の実習内容や文化部の発表の場を設ける。	21	0	13	15	1		2.9		24	
			22	6	17	16	0		3.3	○		
			23	11	17	1	0		4.3	◎		
			24	6	15	12	0	2	3.5	○		
			25	4	11	7	4	7	3.2	○		
各科の個性化(機械科)機械技術の基礎基本の定着	資格検定試験に参加させ、学習意欲の喚起を図る。	21	2	22	5	0		3.7	○	25		
		22	5	18	2	0		4.0	◎			
		23	12	19	0	0		4.4	◎			
		24	9	19	3	0	4	4.1	◎			
		25	3	18	9	1	2	3.4	○			
物づくりを中心とした課題に生徒の意欲関心を持たせる工夫をする。	21	2	23	4	0		3.8	○	26			
	22	4	16	4	0		3.8	○				
	23	9	16	5	0		4.0	○				
	24	8	17	5	0	5	3.9	◎				
	25	4	14	11	0	4	3.4	○				

領域	評価の観点	評価項目	実践目標	調査年度						評点	ランク	設問番号
					A	B	C	D	無回答			
教育課程	(機械科) 機械技術の基礎基本の定着	総合的な技術を習得させて、応用と創造の能力を育成する。	21	0	12	17	0		2.8		27	
			22	4	18	13	0		3.4	○		
			23	3	13	14	1		3.1	○		
			24	4	14	8	0	9	3.5	○		
			25	2	15	9	2	5	3.2	○		
	各科の個性化	資格検定試験に参加させ、学習意欲の喚起を図る。	21	2	23	5	0		3.7	○	28	
			22	4	18	2	0		4.0	◎		
			23	11	17	1	0		4.3	◎		
			24	11	17	3	0	4	4.2	◎		
			25	6	17	7	0	3	3.7	○		
	(電気科) 工業の情報化・高度化に対応した情報技術の充実	工業基礎・電気実習・電気基礎・情報技術基礎など、科目の指導内容の精選をおこなう。	21	1	24	7	0		3.6	○	29	
			22	1	20	3	0		3.8	○		
			23	4	22	3	0		3.9	○		
			24	6	18	5	0	6	3.9	◎		
			25	1	21	6	0	5	3.6	○		
	意欲的に課題解決を行うように工夫をし、達成後、さらに次のステップへの意欲を持たせる。(第2種電気工事士受験等)	21	1	27	5	0		3.7	○	30		
		22	3	18	3	0		3.9	○			
		23	6	19	4	0		3.9	○			
		24	8	14	7	0	6	3.8	◎			
		25	4	19	5	1	4	3.7	○			
課題教育	防災・安全教育	教員の防災教育に係わる指導力・実践力の向上	「生徒の命を守る」という教職員の意識と技術を高める。防災訓練を行う。	21	1	20	14	0		3.2	○	31
				22	1	19	9	1		3.3	○	
				23	4	18	9	0		3.5	○	
				24	2	17	14	0	2	3.2	○	
				25	3	15	12	3	0	3.1	○	
	人権教育	確かな人権意識の育成	人権教育HRや生活体験発表会において、生徒の身近な問題から相互に尊重し合う態度を育てる。	21	3	18	13	1		3.3	○	32
				22	5	15	10	4		3.2	○	
				23	4	16	10	0		3.5	○	
				24	5	18	10	0	2	3.5	○	
				25	3	22	6	2	0	3.5	○	
	情報教育	情報モラルの育成	情報発信に伴う責任など、情報モラルを育成する。また、プライバシー保護や著作権尊重の重要性を考えさせる。	21	0	21	13	1		3.2	○	33
				22	1	13	12	3		2.9		
				23	3	13	13	2		3.1	○	
				24	2	13	17	1	2	2.9	○	
				25	2	11	11	8	1	2.6		
環境教育 福祉教育	環境・福祉体験活動等の推進	生徒の身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造するための実践力を育てる。	21	1	6	25	3		2.3	△	34	
			22	0	9	13	7		2.4	△		
			23	0	9	18	2		2.6			
			24	2	10	16	5	2	2.6			
			25	1	13	14	4	1	2.8			
交通安全教育	実践的な安全教育への取り組み	交通安全指導を強化し、自他の生命を尊重する意識を高める。	21	6	19	9	0		3.6	○	35	
			22	4	15	10	0		3.4	○		
			23	4	17	9	1		3.5	○		
			24	4	20	8	0	3	3.6	○		
			25	4	14	12	2	1	3.2	○		